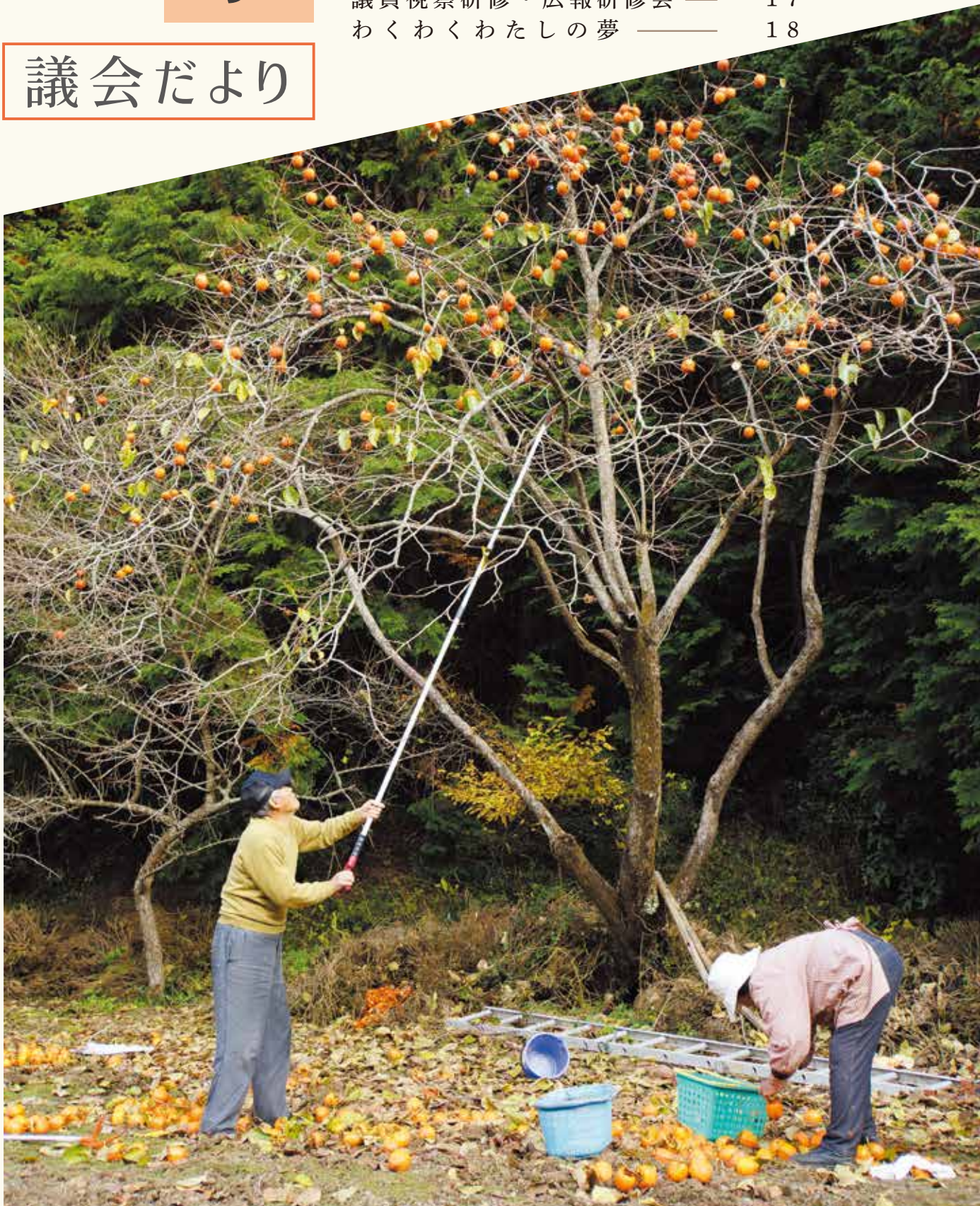


大 だいご  
子

目次

議会報告会	_____	2～3
令和元年第3回定例会	_____	4～7
平成30年度決算の認定	_____	7～8
一般質問目次	_____	9
議員視察研修・広報研修会	_____	17
わくわくわたしの夢	_____	18

議会だより



シリーズ大子の風景⑭ 「里の秋」 奥久慈大子フォトコンテスト作品から  
(表紙の都合上、写真の一部を加工しております。)



# (大子町議会報告会)を実施しました①

議会報告会を開催しました。町民の皆さまの声をお聴きする貴重な場となっています。

今年度は趣向を変え、「大子町が好き 議員と話そう会」と題し、各種団体の皆さまと意見交換を行いました。

## 大子清流高校

### 魅力的な点

○生徒数は少ないが、早朝の時間外でも個別に教えてくれる。また、特別な介護などの資格が取れるので、各科目標を持って勉強できる。

↓引き続き魅力ある大子清流高校の存続のため、議会としても積極的に努力していきます。

### 改善や整備してほしい点

○通学路の街路灯・防犯灯が少ない場所があるので設置してほしい。(生瀬地区、左貫地区及び棋野地区の生徒)また、公園など、若い人たちが遊ぶことができる場所がほしい。

↓議員の一般質問でも防犯灯の設置要望は行われています。通学路の確認をしつつ、地区の状況を踏



○学校やまいんの図書室は制約があるので、グループや友人と勉強し合える場所がほしい。

まえ、町に要望していきます。また、大子広域公園は、巨大滑り台・多目的温泉プール・オートキャンプ場・テニスコートなど魅力的な施設があり、スポーツレクリエーション活動の拠点として整備されています。スポーツや健康づくりの理解を深めるための積極的な広報活動や施設の改善について町に求めていきます。

## 大子町地域女性団体連絡会

↓まいんの学習室は午後7時まで利用することができ、ます。要望を踏まえ、より利用しやすい方法が図れないものか、町に働きかけや検討を求めていきます。

○屋敷が荒廃

している空き家対策についてどうすればいいか。

↓「空家等対策の推進に関する特別措置法」では、所有者の責務として適切な管理に努めるよう定められています。近隣の方などに危害や被



害が及んだ場合は、所有者等の責任となり損害賠償を問われることもあり、ます。特定空き家等に対しては、町で必要な措置を行うことができることが定められていることから「空家等対策協議会」が設置されています(窓口生活環境課)。議会としても現況把握に努めてまいります。

# 「大子町が好き 議員と話そう会」

## ●実施日

7月16日(火)  
8月1日(木)  
5日(月)

## ●団体名

大子清流高校2年生  
大子町地域女性団体連絡会  
大子町老人クラブ連絡協議会

## ●会場

大子清流高校  
中央公民館  
まいん

○耕作放棄地が増え、周りが草でいっぱいになっているが、町の対策は。

↓町では、所有者から承諾を受けた遊休農地などの草や灌木の刈り払いを行い、草花などの植栽を行う団体や個人に補助を行う「遊休農地等活用事業」を行っています。

○高齢者ドライバーの免許返納が騒がれているが、免許を返納しても元気に暮らしていくことができ、る全国に誇れるような町づくりの考えを聞きたい。

↓町では、利用者の要望に対応した持続可能な公共交通網を構築することを目的に「大子町地域公共交通再編実施計画」の策定を進め、来年4月には実証実験を実施する予定です。議会も会議の報告を受けながら利便性について注意深く見ていきます。

## 大子町老人クラブ 連絡協議会

### 老人クラブ会員の確保

○町内の老人クラブ数は半減している。先進例などを参考にし、会員確保のためのさまざまな取り組みを行っているが危機感を感じている。会員確保のため、議会は対策を検討してほしい。

↓老人クラブは、軽スポーツ等、また会員の交流などで町民の健康寿命を延ばす取り組みの一翼を担っています。議会として、会員確保につながるよう議論を進めてまいります。

### 公共交通機関の充実

○高齢化に伴い、デマンドタクシー等の公共交通機関の充実を早急に実現してほしい。

↓高齢化率が県内自治体で最も高い中、議会でも重

要な課題と考えています。現在、大子町地域公共交通会議で議論が進められ、年度内に計画が策定され、来年4月から実証実験が行われる予定です。

### 耕作放棄地等の対策

○高齢化が進行する中で、借り手から返還される土地、また、自

ら耕作できなくなった耕作放棄地が増えていく。都会から町への転入者等に貸し出すなど、町としての対策が必要ではないのか。

↓耕作放棄地の増大は、イノシシ等の住処や観光の町とし

てのイメージダウンにもなります。町では、一部の地域をモデルに、野生動物、人の住み分けのための緩衝帯を設け、雑草、雑木の除去を行っています。議会として、耕作放棄地の有効活用、環境保全など町との話し合いを進めてまいります。



## 令和元年第3回定例会

## 令和元年度一般会計補正予算

## 1億5,716万4千円の増額

令和元年度大子町一般会計補正予算（第2号）の主なものは別表のとおりです。補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ101億2,139万1千円となります。

また、国民健康保険事業特別会計215万5千円の増額、介護保険特別会計2,763万8千円の増額、介護サービス事業特別会計250万8千円の減額、浄化槽整備事業特別会計124万5千円の増額の補正がありました。

水道事業会計については、収益的支出126万5千円の減額補正のため補正後の予定額は4億8,159万6千円、資本的支出533万1千円の増額補正のため補正後の予定額は2億7,151万9千円となります。



## 一般会計補正予算の主なもの

歳 入	補 正 額
地方交付税	1億5,417万9千円
県支出金	622万8千円
町債	△729万6千円
歳 出	補 正 額
職員給与費等	△3,296万7千円
茨城県建設工事等電子入札システム利用環境構築業務委託料	297万円
東京2020オリンピック競技大会観戦ツアー業務委託料	227万7千円
土地改良事業費補助金	451万円
中山間地域農業基盤整備促進事業費	792万6千円
袋田の滝吊橋修繕工事請負費	500万円
住宅助成金事業費	8,150万円
災害対策事業費	1,313万2千円
大子町地域の祭り文化支援事業補助金	168万4千円

## 第3回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第75号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
議案第76号	大子町印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第77号	大子町温泉条例の一部を改正する条例	原案可決



## 令和元年第3回定例会

議案第78号	湯の里公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第79号	大子町水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第80号	和解について	原案可決
議案第81号	大子町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第82号	大田原市との八溝山周辺地域定住自立圏の形成に関する協定の一部変更について	原案可決
議案第83号	大子町公平委員会委員の選任について	原案同意
議案第84号	令和元年度大子町一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第85号	令和元年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第86号	令和元年度大子町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第87号	令和元年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第88号	令和元年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第89号	令和元年度大子町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第90号	平成30年度大子町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第91号	平成30年度大子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第92号	平成30年度大子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第93号	平成30年度大子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第94号	平成30年度大子町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第95号	平成30年度大子町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第96号	平成30年度大子町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
委員会報告第1号	常任委員会審査報告（総務委員会）	原案可決
委員会報告第2号	常任委員会審査報告（文教厚生委員会）	原案可決
委員会報告第3号	常任委員会審査報告（文教厚生委員会）	原案可決
議員提出議案第2号	議員の派遣について	原案可決
議員提出議案第3号	過疎地域自立促進特別措置法失効後の新たな過疎対策法の立法化についての意見書	原案可決
議員提出議案第4号	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書	原案可決
議員提出議案第5号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	原案可決
議員提出議案第6号	大子警察署駐在所再編整備計画に関する意見書	原案可決
	閉会中の継続審査の申し出について（総務委員会）	原案可決
	閉会中の継続審査の申し出について（文教厚生委員会）	原案可決

## 議案の賛否状況

全議案（27件）のうち、採決に当たり意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議案 番号	議案名	賛否数		議 員 名														
		賛 成	反 対	菊池 富也	須藤 明	藤田 英夫	菊池 靖一	櫻岡 義信	中郡 一彦	岡田 敏克	大森 勝夫	金澤 真人	齋藤 忠一	佐藤 正弘	鈴木 陸郎	藤田 稔	野内 健一	吉成 好信
第90号	平成30年度太子町一般会計歳入歳出決算の認定について	12	1	○	○	△	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○
第91号	平成30年度太子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	12	1	○	○	△	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○
第92号	平成30年度太子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	12	1	○	○	△	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○
第93号	平成30年度太子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	12	1	○	○	△	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○

※○＝賛成、×＝反対、△＝欠席 -＝議長（大森勝夫議員）は採決に加わりません。

## 太子町公平委員会委員に金成節子氏を選任

太子町公平委員会委員に金成節子氏（大字北田気）を選任することに同意しました。

## あなたから出された請願・陳情等は

請願・陳情等名	請願・陳情等者	付託委員会	結 果
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	水戸市笠原町 978-46 茨城教育会館 2 F 茨城県教職員組合 代表 杉山 繁 ほか 98 名	文教厚生委員会	採 択
後期高齢者の医療費自己負担 2 割への引き上げに反対する請願	水戸市城南 3-15-24 茨城県社会保障推進協議会 代表委員 瀧澤 利行 茨城県高齢期運動連絡会 会長 近沢 重男	文教厚生委員会	継続審議

過疎地域自立促進特別措置法失効後の新たな過疎対策法の立法化についての要望	東茨城郡城里町石塚 1428-25 全国過疎地域自立促進連盟 茨城支部長 上遠野 修	総務委員会	採 択
「医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書」を国に提出することを求める陳情	水戸市城南 3-9-20 茨城県医療労働組合連合会 執行委員長 松崎みどり	文教厚生委員会	採 択
「辺野古新基地建設が、沖縄県民にのみ過重な負担を強い、その尊厳を踏みにじるものであることに鑑み、解決に向けた主体的な取り組みを日本国民全体に呼びかけるとともに、政府に対し、沖縄県民の民意を尊重することを求める決議」に関する要望	沖縄県那覇市松尾 2-2-26-6 号 沖縄弁護士会 会長 天方 徹	総務委員会	継続審議

※採択された請願・陳情等は、地方自治法第99条の規定により国会及び関係省庁等に意見書を提出しました。

## 平成 30 年度の執行状況

平成30年度の予算執行について、一般会計の主な事業及び決算並びに特別会計・水道事業会計の決算は別表のとおりです。

### 平成 30 年度 一般・特別・水道事業会計決算

会 計 別		歳入決算額	歳出決算額
一 般		94 億 5,574 万円	88 億 2,809 万 8 千円
特別会計	国民健康保険事業	24 億 4,459 万円	23 億 9,751 万 4 千円
	後期高齢者医療	2 億 4,554 万 6 千円	2 億 3,534 万 7 千円
	介護保険	26 億 3,048 万 3 千円	25 億 424 万 5 千円
	介護サービス事業	1,080 万 8 千円	1,080 万 8 千円
	浄化槽整備事業	1 億 169 万 3 千円	1 億 68 万円
水道事業会計	収益的収支	4 億 8,715 万 7 千円	4 億 5,744 万 2 千円
	資本的収支	1 億 2,390 万 7 千円	2 億 5,881 万 4 千円

※資本的収入が資本的支出に対し不足する額1億3,490万7千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,275万円、当年度分損益勘定留保資金1億470万7千円、建設改良積立金取り崩し1,745万円で補てんしました。

## 〈平成 30 年度主な事業と決算〉

● 地方創生推進交付金事業	63万1千円
● 茨城県北地域活力創造プロジェクト事業	189万4千円
● 都市再生整備事業	570万2千円
● 新庁舎建設事業	7,007万4千円
● 環境衛生施設整備事業	825万2千円
● 土地改良事業	4,122万4千円
● 茶の里公園施設整備事業	1,304万3千円
● 林道開設改良事業	4,463万5千円
● 温泉施設整備事業	3,376万1千円
● 道路新設改良事業	2億2,032万9千円
● 子育て支援住宅（芦野倉）建設事業	1億3,172万6千円
● 子育て支援住宅（袋田第二）建設事業	9,404万円
● 消防施設整備事業	3,299万5千円
● 小学校施設整備事業	5,182万4千円
● 中学校施設整備事業	4,598万2千円
● 文化財展示施設整備事業	1,060万3千円
● 公民館・コミュニティセンター整備事業	1,251万5千円
● 第74回国民体育大会推進事業	196万6千円
● 給食センター施設整備事業	764万7千円

## 大子警察署駐在所再編整備計画に関する意見書を県に提出

茨城県警察本部から「大子警察署管内の駐在所の再編整備計画」が8月28日西金地区及び9月3日浅川地区で開催された地区説明会で示されました。

大子町議会として、地域の安心・安全の向上を心より望むところであり、下記事項について茨城県知事及び茨城県警察本部長あてに意見書を提出しました。

- 1 大子警察署駐在所再編整備計画による駐在所統合の見直し
- 2 高齢者の多い地域に即した、安心・安全の確保への取り組み



## 令和元年第3回定例会

### 町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

7人の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
町で成年後見人を養成しては 町民のためのフレイルサポーター活用を 改善されたごみ袋の販売開始はいつから	P.10	野内 健一 議員
マイナスイオンの測定は 放射性物質の測定は 通学路の防犯灯の整備を	P.11	櫻岡 義信 議員
町民も利用できる施設の整備を 震災の教訓を活かした町づくりを 3市町の観光振興連携状況は	P.12	藤田 稔 議員
前事業を評価して町の将来は	P.13	菊池 靖一 議員
新庁舎建設の進捗状況は 地域公共交通の再編について 観光資源の整備で誘客増を	P.14	佐藤 正弘 議員
愛宕町地内のため池について 自動車の安全装置購入補助制度の検討を エジソンパワーの発電開始は	P.15	吉成 好信 議員
職員の綱紀粛正について 職員の療養、休暇、給与問題について	P.16	岡田 敏克 議員

#### 一般質問とは・・・

定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進捗状況、将来における施策方針等を質すことです。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や施策提言をすることも、議員の重要な権限です。

#### インターネットで映像配信中

町議会では、インターネットによる議会中継を配信しています。定例会及び臨時会のすべてを生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見ることができますので、大子町議会の様子を是非映像でご覧ください。

※一般質問者ページ下部にあるQRコードにより、質問者を検索することができます。



ホームページから 議会中継 クリック



スマートフォンから



## 問 町で成年後見人を養成しては

## 答 周囲の自治体を注視し検討する



野内健一 議員

としては、平成25年から現在まで16件。判断能力が十分でない方が医療機関に入院あるいは介護施設に入所される場合に成年後見人が必要となるため、今後ますます利用が増えると考えられる。

【野内】 大子町で成年後見人を養成する考えは。

【町長】 周囲の自治体等の動向を注視しながら検討する。また、高齢化社会へ向けての整備としても、必要性を感じている。

## 町民のためのフレイルサポーター活用を

【野内】 介護予防のなかでフレイルということは、高齢になって筋力や活力が衰えることにより、精神心理や社会性が低下していくこ

とを意味する。このような状態は、健全な状態と要介護状態の中間であり、このフレイルの状態が身体的ばかりでなく、社会との接点が減少し、人付き合いがおっくうな、メンタル面でのフレイルであろうと思う

【福祉課長】 シルが町の対策は。

【福祉課長】 シルパーリハビリ体操指導士による健康教室をまいんで毎週行っている。また、だいが健康アドバイザーによる健康教室を、まいんや各地区の集会所において開催している。この二つの活動は、以前からフレイルを意識

して実施している。その他にも健康長寿プロジェクトを、昨年度から毎月開催している。今後はフレイルについて、ひとりでも多くの町民の皆様認識してもらうため、出前講座等に力を入れていくことを考えている。

【野内】 現在、大子町では

認知症サポーターが活動しているが、フレイルサポーターの活動については考えているか。

【福祉課長】 フレイルチェックという特化したものを町では実施していないが、シルパーリハビリ体操指導士や、だいが健康アドバイザーがフレイルチェック的なものを実施しており、この方たちがフレイルサポーターという役割も担っていると考えている。

## 改善されたごみ袋の販売開始はいつから

【野内】 約1年前に、ごみ袋の梱包仕様の改善について質問をしたが、現在はどういう状況か。

【生活環境課長】 今の在庫を考えると、可燃ごみ45リットル袋は11月中旬ごろ、20リットル袋は年明け1月、ペットボトル45リットル袋は、次年度くらいになるものと想定している。



フレイルを意識した健康教室

# 問 マイナスイオンの測定は

## 答 測定の実現性は感じている



櫻岡義信 議員

長期的な観点で更に整備が必要ではないか。

【**農林課課長補佐**】従来の補助事業に加え、今年度は国の森林環境譲与税が新設

され、更に整備が期待できる。

やコストの課題があり、容易に事業化できない。一部

企業では技術革新が進んでいるが、今後の技術革新を注視する。

【**櫻岡**】森林整備によりイノシシ被害の軽減が期待できないか。

【**農林課課長補佐**】鳥獣被害対策に緩衝帯整備と同様に森林整備も効果があると考えられる。現在、左貫地区で緩衝帯整備のモデル事業を実施しており、その効果検証も踏まえ、有効策を検討したい。

【**櫻岡**】袋田の滝は、空気清浄効果やリラククス効果などがあると言われるマイナスイオンが多いと思われる。測定したことはあるか。

【**観光商工課長**】測定したことはない。

【**櫻岡**】マイナスイオンは人や農作物に良い影響があるとされる。PRのため、研究機関と測定してはどうか。

【**町長**】マイナスイオンなどの測定の実現性は感じている。他の課題と優先順位を検討して進めたい。

# 放射線物質の測定は

【**櫻岡**】現在も一部食品から放射性物質が検出されている。土壌からも放射性物質が検出されているか。

【**総務課長**】平成25年度まで土壌を測定していたが減少傾向にあるため、現在は測定していない。

# 通学路の防犯灯の整備を

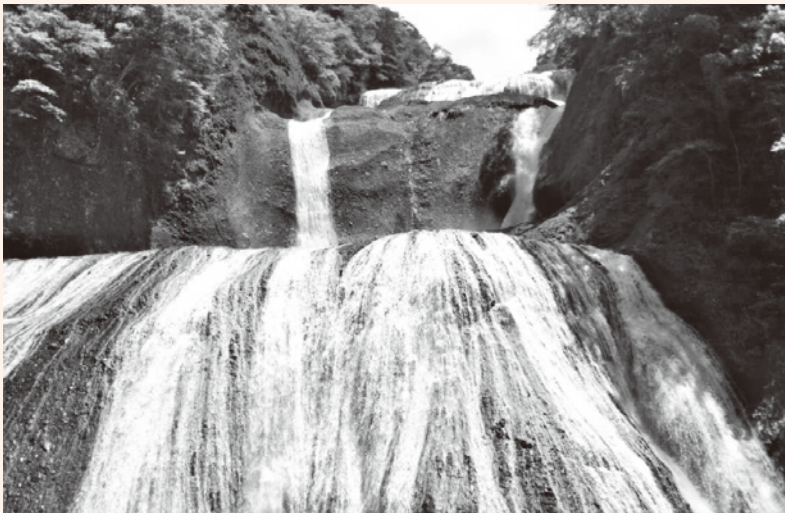
【**櫻岡**】通学路の防犯灯や街路灯が少なく、日没後の帰宅に不安を感じる場所がある。安全向上と節電効果のため、LEDの防犯灯を増設してはどうか。

【**財政課長**】防犯灯の新規設置は、区長などからの申請をもとに、町が必要性を確認して行っている。新設分は、全てLED化しており、既設も修繕の際に順次LED化している。今後も同様に順次LEDに更新していく。

【**櫻岡**】町の観光客数は東日本大震災前と比べると2、3割は落ち込んでいる状態ではないか。観光の目玉である袋田の滝だが、水量が少ないと報道される時期もあった。迫力ある景観を保つため、水量の安定化には、上流の生瀬地区の水源確保のための森林整備が必要と考える。間伐により森林の土壌が改善され、貯水能力やろ過能力が向上し、河川の流量安定、水質向上につながると考える。

【**櫻岡**】放置された竹林も伐採することで、景観の悪化や竹害の軽減にもつながり、バイオマス発電の燃料使用で再利用も可能ではないか。

【**生活環境課長**】竹のバイオマス発電への利用には、メンテナンス



観光地の周辺環境整備を



## 問 町民も利用できる施設の整備を

### 答 関係各課と検討していききたい



藤田 稔 議員

ていききたい。

【藤田】 大子清流高校の寮としての考えは。

【まちづくり課長】 要望があれば協議をして進めたい。

【藤田】 施設等は修繕の必要はあるのか。

【まちづくり課長】 宿泊棟、研修棟は耐震基準をクリアしている。体育館は天井材の撤去について検討したい。

【藤田】 施設等の利用料金徴収についての考えは。

【まちづくり課長】 大子研修センター全体の活用を含めて検討していききたい。

【藤田】 研修センターへの進入路の整備の考えは。

【まちづくり課長】 双方通行出来る道路や新たな進入路の整備を検討したい。

【藤田】 フットサル場、ゲ

ラウンドゴルフ場や、児童館等としての活用の考えは。

【まちづくり課長】 フットサル場は、室内フットサル場の整備を、グラウンドゴルフ場は、全体の利用状況を見て、児童館は、担当



町民が利用できる施設整備を

課で検討したい。

【藤田】 大子町飲食店組合との協議はされているか。

【まちづくり課長】 今後、協議していききたい。

【藤田】 今後の管理委託について伺う。

【まちづくり課長】 引き続き振興公社と協議してお願いしたいと思っている。

## 震災の教訓を活かした町づくりを

【藤田】 土砂災害の発生や浸水が想定される場所は早急に見直しをすべきでは。

【総務課長】 イエローゾーン内の避難場所が、大子清流高校の一部や長岡集会所等18か所ある。洪水浸水想定区域が、役場やまいん等20か所把握している。指摘頂いた宮川、生瀬、上小川、下小川コミセンの避難所指定についても見直しを検討したい。

【藤田】 井戸水確保の進捗状況について伺う。

【総務課長】 調査対象井戸

の抽出作業は終了した。業者と単価契約を締結し、早期に順次調査に入りたい。

【藤田】 各学校に長期保存水や非常食は備蓄しておくべきではないのか。

【総務課長】 今後の課題としていききたい。今後各コミユニティセンターには備蓄倉庫を整備する。

【藤田】 宮川コミセンについては施設整備等が必要ではないのか。

【総務課長】 1階にエアコンが設置されていない現状で、今後検討したい。

【藤田】 災害対策室設置についての考えを伺う。

【町長】 今後検討していく。

## 3市町の観光振興連携状況は

【藤田】 昨年9月に、北茨城市、大洗町、大子町が観光連携協定を締結したが。【観光商工課長】 平成31年3月31日をもって協定を終了した。

## 問 前事業を評価して町の将来は

## 答 次期総合計画でビジョンを示す



菊池靖一 議員

か。

【観光商工課長】株式会社

JTB水戸支店と業務委託

契約をして、国体カヌー会

場の跡地利用やサイクリン

グマップの検討、女性旅行

者向けのパンフレットを作

成するなど今までになかつ

たことなので効果はあつた

と感じている。今後もワー

クショップなどで町民の意

見を取り入れた取り組みを

していきたい。

【菊池】元気な町づくりチ

ヤレンジ支援事業について

はどうか。

【まちづくり課

長】少子高齢化

の進展が予想さ

れる中で、地域

で元気に活躍す

る団体が今後の

持続可能な町づ

くりを進めるた

めの重要な役割

を担っていくも

のと考えるの

で、必要不可欠

な事業であると

評価している。

【菊池】森林セラピー推進

事業（ポナイの森）につい

てはどうか。

【まちづくり課長】散策路

や広場の整備のほか、定期

的な除草作業を行い森の保

全活動を実施した。また、

散策路を活用して、町民を

対象とした森林セラピー

ウォーキングを開催するな

ど、多くの方が利用してい

る。

今後、駐車場や上水道、

トイレ等の整備について検

討を進める。

【菊池】平成30年度、前町

政の事業をどう評価して、

継続や見直しを考え、町の

将来に繋げていくのか。

【町長】30年度は、町施策

の継続性を重視し、町民へ

の影響を回避した。必要に

応じて見直しを行いなが

ら、現役世代のみならず子

や孫にとっても幸せが実感

できる「日本一幸せな大子

町づくり」を着実に進める

ため、次期総合計画でビジ

ョンを示していく。

【菊池】個々の事業につい

て聞く。最初に見守りサー

ビス事業についてはどう

か。

【福祉課長】本町は高齢化

率44%と、県下一の状況で

ある。見守りは高齢者福祉

の中で大きな柱であると認

識している。超高齢化

社会に向けて他団体のモデ

ルとなるように、なお一層

の施策の充実強化を図る。

【菊池】子育て支援住宅に

ついてはどうか。

【建設課長】効果として、

子育て世代の入居があつた

ことで、学校の児童・生徒

の確保増加につながつた。

退去された方の多くが町内

に自宅を新築した。さらに

子育て支援住宅建設によ

り、地元の建築業者に経済

効果があつた。しかし、現

在10戸が空き住宅になつて

いることを考えると、以前

より応募数が少なくなつて

いると実感している。時代

の変化と供給のバランスを

考慮すると、これ以上戸数

を増やすことはできないの

ではないかと考える。

【菊池】有害鳥獣被害対策

事業についてはどうか。

【農林課課長補佐】イノシ

シの箱わなは、捕獲実績を

見ても大変有効な手段であ

る。イノシシは学習能力が

高いので、今後はICTを

活用した捕獲の効率化、隊

員の技術向上が重要にな

る。

わな免許取得について

は、猟友会の担い手確保に

もつながることから、若年

層への取得も推進する。

【菊池】事業の企画やパン

フレットの作成など、専門

業者に委託して行う観光振

興支援業務についてはどう



今後の活用が期待されるカヌー会場  
(子どもたちの声援がひときわ大きくなる地元の井戸選手)



## 問 新庁舎建設の進捗状況は

### 答 現在、実施設計の段階である



佐藤正弘 議員

算定が終わり、全体の  
実施設計を完成させ  
る。本体工事に関する  
概算事業費は内容を  
精査した上でないと  
説明できない。

【佐藤】 概算の経過が  
議会へ報告されてい  
ない。12月前にも進捗  
状況を説明する必要  
があるのではないの  
か。

【総務課長】 詳細な材  
料、数量それによる単価を  
入れた積算金額を出すこと  
が一番大事だと考えてい  
る。整理ができた段階で説  
明したいと考えている。

【佐藤】 今後の本体工事契  
約、工事着工、完了までの  
スケジュールはどのよう  
なるのか。

【総務課長】 積算を年内に、  
発注のための入札準備を来



台風19号により浸水した庁舎

年1月、議会手続きを2月  
上旬、本体工事を2月中旬に、  
竣工は再来年の3月を目途  
に進める。

## 地域公共交通の 再編について

【佐藤】 地域公共交通の実  
施計画、再編計画のスケジ  
ュールが示された。来年4

月に実証実験を行うとされ  
ているが、町として早急に  
基本的な考え方を示す必要  
があるのではないか。

【まちづくり課長】 高齢化  
社会に対応した町民の日常  
生活を支える交通サービス  
の確保が必要であると考  
えている。地域の特性を十分  
踏まえた上で、利用者ニー  
ズに対応した持続可能な公  
共交通網を構築することが  
重要と考えている。

【佐藤】 地域の特性を踏ま  
えた公共交通体系の整備  
で、タクシー、マイクロバ  
ス、路線バスなどの方向性  
はどのように考えているの  
か。

【まちづくり課長】 デマン  
ドタクシー、AIを活用し  
た交通システムの導入など  
検討を進めていく。

## 観光資源の整備 で誘客増を

【佐藤】 八溝山の景観につ  
いて、3月、6月と議会で  
取り上げてきた。その後、

どのようになっているの  
か。

【観光商工課長】 樹木の枝  
払い等について、棚倉森林  
管理署に検討を要請し、回  
答を待っているところであ  
る。

【佐藤】 袋田の滝、吊り橋  
周辺の危険木は重大な事故  
につながる可能性がある。  
どのような対策を考えてい  
るのか。

【観光商工課長】 県への現  
状変更許可申請の手続きを  
行っているところであり、  
許可が下り次第、伐採の作  
業を行う予定である。

【佐藤】 奥久慈だいが観光  
やな漁業組合の組合長は町  
長である。10月から来年度  
予算の編成に入る。改善策、  
誘客のための施策など打ち  
出す必要があるのではない  
のか。

【町長】 今後、やな本店の  
営業が終了する10月をめど  
に方向性を打ち出し、その  
後報告ができるように進め  
ていく。



# 問 愛宕町地内のため池について

## 答 大雨等の状況を見据え検討する



吉成好信 議員

【吉成】30年第4回定例会でも、ため池の点検、活用  
の問題を取り上げた。愛宕  
町のため池は現在利用者が  
3名であり、ため池の水路  
として整備されたのはわず  
かである。途中まで排水路  
がきているが、そこから先  
は素掘りの排水路になって  
おり、家庭の雑排水と一緒  
になって溜ますまで行く状  
況であり、つながっていない  
。100m弱あり、素掘り  
の水路で放ったままであ  
る。町はどのように考える

か。

【農林課課長補佐】費用対  
効果など鑑みて、必要最低  
限の整備としている。ため  
池の貯水量を必要最低限に  
留めておくという措置も加  
えて、その後の大雨等の状  
況を見据えながら、追加工  
事を検討していく方針であ  
る。

【町長】私も現地の人が合  
致しているかわからない  
が、そういう要望を受けた  
ことがある。引き続き担当  
課に指示をし、整備する方  
向で検討する。

### 自動車の安全装 置購入補助制度 の検討を

【吉成】アクセルとブレ  
キの踏み間違えによる急加  
速を防止する装置の購入補

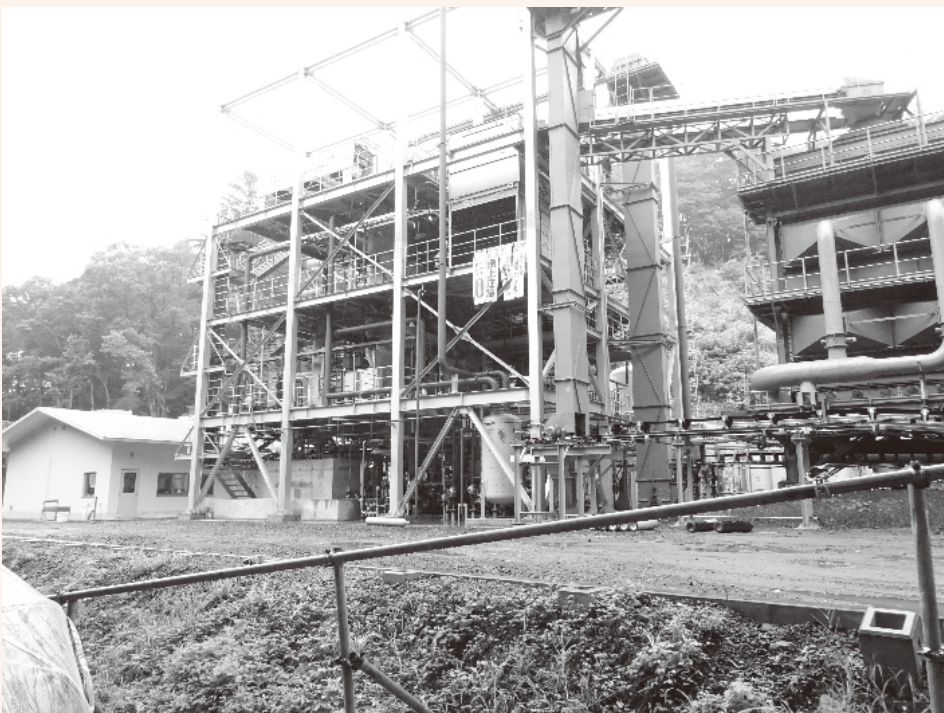
助制度ができないか。ある  
いは、あおり運転等の記録  
に有効なドライブレコーダ  
ーの購入について助成でき  
ないか。参考までに境町で  
は9月議会で議決し10月か  
ら実施する予定である。

【生活環境課長】現在県内  
で実施している急加速防止  
装置に対する補助等の状況  
は、一般財団法人茨城県交  
通安全協会において、本年  
9月1日から県内に在住し  
ている70歳以上の高齢者を  
対象に、本人名義車両に装  
着した場合、同一人に対し  
て1回限り取付けに対して  
補助を交付する制度がしま  
った。会員の場合には1万  
円、非会員の場合には2千  
円の額が補助される。

## エンジンパワ ーの発電開始は

【吉成】エンジンパワーの  
発電開始が8月稼働、10月  
商業運転開始が可能なの  
か。

【まちづくり課長】修正作  
業等の完了後には試運転を  
1〜2カ月間行い、12月上  
旬に商業運転を開始する予  
定で進めている状況であ  
る。



早期運転開始が望まれる木質バイオマスガス発電施設

## 問 職員の綱紀肅正について



岡田敏克 議員

ようにするのか。

### 職員の療養、休暇、給与問題について

① 現在までの長期療養、休暇職員の理由は。(精神的なものなのか、けがによるものなのか。)

② 地方公務員法に基づいて、職員の療養休暇及び給与についてはどうなのか。

③ 療養に関する休暇等の条例、規則の改定を提案する。

④ 町の産業医、かかりつけ医を除く医療機関から診断書を2通取るなど、セカンドオピニオン制度を提案する。

- ① 職員に対し、周知徹底はどのように行っているのか。
- ② 福祉課で発生した(平成30年8月～令和元年2月まで)介護保険料還付問題について、大子町職員人事調整審査会はいつ開いて協議したのか。
- ③ その結論はどうなったのか。
- ④ 管理監督者及び三役の責任についてはどうなのか。
- ⑤ その公表についてはどの

※岡田敏克議員については、台風19号により被災され、一般質問記事は質問事項のみ掲載となりました。一般質問、答弁に関する詳細は、本ページ右側のQRコードを読み込みご覧ください。



## ◎台風19号により被災された皆さまへ

令和元年10月12日から未明にかけて台風19号が関東を直撃し、本町においても甚大な被害をもたらしました。

被害に遭われた町民の皆さまには心よりお見舞い申し上げます。皆さまの一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

大子町議会



## 議員視察研修

(石川県金沢市、福井県小浜市、京都府京都市)

令和元年7月10日～12日

### 【金沢市：起業家支援】

会社を立ち上げるだけが起業家支援ではなく、経営が安定し利益を出せるまでの指導も行う。そのノウハウが既存の事業所の経営指導にも応用でき、金沢市すべての事業所を対象にできる体制に発展したことが特徴的である。

### 【小浜市：食のまちづくり】

京都の食材供給地として歴史のある地域。幼少期から魚の調理を通して郷土愛を育ませ、その指導も地域ボランティアに委託し、住民の誇りを醸成させる連携プレーが印象的であった。「地域にあるもの探し」の発想が大切と学んだ。

### 【京都市：外国人観光客】

日本文化を象徴する都市だけに、多国籍の観光客が訪れる。逆説的だが、金沢市は欧州を標的とし、とくにイタリア人誘客に特化して、観光地全体の雰囲気づくりを重視している。明確なコンセプトにより魅力が高める取り組みである。

## 広報研修会

広報委員は、7月と9月に開催された全国町村議会議員広報研修会に参加しま

した。

広報委員一同今後も議会だよりが、より身近に感じ、また議会活動がよりわかりやすく伝えられるよう、努めてまいります。





— 大子っ子の夢、応援しています —

# わくわく わたしの夢



私の将来の夢は、保育士です。

一つ目の理由は、子どもが好きだからです。前から保育士に興味をもっていたので職場体験にも行きました。実際にやってみて、楽しいこともありました。大変なこともたくさんありました。そして、体験から学んだことは、子どもをほめたり、手伝うだけでなく、駄目なことは駄目として

かり叱ってあげるのが大事だということです。子どもが好きだからこそできることで、すごいと思います。

二つ目の理由は、人とたくさん関わりたいからです。今は、あまりコミュニケーションをとるのが得意ではないので改善したいです。そして、周りから頼りにされる保育士になりたいです。



南中3年  
おのせわかさん  
小野瀬和香さん  
(大字頃藤)

## FM放送のお知らせ



町議会定例会の一般質問の様子をFMだいごで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。  
放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。  
※先の台風19号によりFMだいご局舎が被災しました。今後放送については、復旧次第開始いたします。

## 12月定例会 開催予定

- ▽4日(水) 開会
- ▽5日(木) ～8日(日) 自宅審議
- ▽9日(月) 一般質問
- ▽10日(火) 一般質問
- ▽11日(水) 一般質問
- ▽12日(木) 逐条審議
- ▽13日(金) 逐条審議 閉会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

## 大子町議会 広報委員会

- 委員長 須藤 明
- 副委員長 佐藤 正弘
- 委員 菊池 富也
- 委員 菊池 靖一
- 委員 大森 勝夫
- 委員 中郡 一彦

## あとがき

茨城国体も無事終了し、本町で開催されたカヌー競技も大盛況の大会となり、思い出に残る国体となりました。今年もいよいよ紅葉シーズン、行楽の秋の到来です。

今年の議会活動では例年各地区で行っていた議会報告会を改め、町内の各団体との意見交換会「議員と話し合う会」として開催しております。さまざまな分野で活動している町民の皆様の声を、直に聴くことができる良い機会です。

そのような中、群馬県榛東村議会の方が本町の議会活動について、研修に来町しました。他の町村議会から注目されることはうれしいこと、これからも更なる努力を続け、開かれた議会活動に努めていきたいと思っております。

(中郡一彦)